

第

声なき叫び

12月28

東京聖

(山手)



「カパティラ」

聖語を唱えながら入堂する。

わたしの祈りに耳を傾けてくださ

からあなたを呼びます。

わたしを導いてください。

ころ 〓 敵に対する力強い塔と

51:2～4 新共同訳)

聞き 〓 わたしの口の言葉に耳を

いにしえからの言い伝えを告げ

と 〓 先祖がわたしたちに語り伝

の継ごう 〓 主への賛美、主の御

即業を。(詩編78:1～4 新共同訳)

はじめの唱和と祈り

司式者 主イエス・キリストの恵

たちとともにあますよう

会衆 **アーメン**

特 禱 (聖なる幼子)

司式者 主は皆さんとともに

会衆 **また、あなたとともに**

司式者 祈りましょう

全能の神よ、ベツレヘムの聖なる

死を受けたことを覚えて祈ります

み腕の中に受け入れてください。

てをくじき、正義と愛と平和の支配

ストによってお願いいたします。

る幼い命

18「ラマで声が聞こえた。激しく嘆

ことで泣き、慰めてもらおうとした

一同立って、次の聖歌を

よう

聖歌 「コヴェントリー」

第2章13～18節

主の天使が夢でヨセフに現れて連れて、エジプトに逃げ、わたしが。ヘロデが、この子を探し出して、夜のうちに幼子とその母を連れまでそこにいた。それは、「わたし出した」と、主が預言者を通して言

たまされたと知って、大いに怒ってかめておいた時期に基づいて、ベ以下の子を、一人残らず殺を通して言われていたことが実現

Burden

ラ リーラ レー お さ

リーラ レー お さ
お へ
そ の

い わ う こ の
お そ い か か
お さ い な ら

り く る バイ
が す な み
ね む ね バイ

隔てを超えて、神の

一同、立って、次の詩編

詩編 第146編

は立って、次の祈りを唱える。

との困難と困惑に打ちひしがれ、
に祈ります。どうか愛のみ手をのべ
えてください。つねに恵みを与え、
る力を与え、まことの希望を見いだ
ください。主イエス・キリストによっ

- 1 ハレルヤ わたしの魂よ、
- 2 命ある限り主をたたえ
- 3 この世の支配者たちに頼つ
子に頼ってはならない
- 4 人は息絶えて土に帰り
る
- 5 ヤコブの神を助けとし
- 6 神は天と地を造り、海とその
えにまことを示された
- 7 虐げられた人のために審き
み、捕らわれ人を解放される
- 8 主は見えない人の目を開き
しい人を愛される
- 9 主は他国から来ている人を
を支え、悪人の企てを砕か

シオンの神は世々に、ハレルヤ

限りなく アーメン

よう

手紙 第2章14～22節

でおます。二つのものを一つに
隔ての壁を取り壊し、¹⁵規則と戒
こうしてキリストは、双方を御自分
げて平和を実現し、¹⁶十字架を通
解させ、十字架によって敵意を滅
り、遠く離れているあなたがたに
福音を告げ知らせられました。¹⁸
とち両方の者が一つの霊に結ば
です。¹⁹従って、あなたがたはまは
なる民に属する者、神の家族であ
に建てられています。そのかなめ

石はキリスト・イエス御自身であ
は組み合わされて成長し、主に
トにおいて、あなたがたも共に建
となるのです。

証言(2)

祈り

会衆は着席のまま、司式

司式者 祈りましょう

慈しみ深い主よ、み子イエス・キリ
として平和に生きるために、十字
による和解の道を開いてくださ
などのために住まいを失った人び
と病のうちにある人びと、また日本
とその家族を憐れみ、その必要を
理によって、その災いから解放し、
主イエス・キリストによってお願い

う。

で(『改訂古今聖歌集試用版』より)

いわしに 従えと招かれる

わたしの名を 呼ばれる

共に 歩み出そう

の舟の中は 宝なく 網ひとつ

わたしの名を 呼ばれる

共に 歩み出そう

ら仕える手を 疲れ果て 悩む人に

わたしの名を 呼ばれる

共に 歩み出そう

れ慕う心を いつくしむ 友として

わたしの名を 呼ばれる

共に 歩み出そう

D G A7 Em A7

1 あ た し に 従 え と 招 か れ る
2 わ た し の 名 を 呼 ば れ る
3 あ た し に 従 え と 招 か れ る
4 わ た し の 名 を 呼 ば れ る

わ た し の 名 を 呼 ば れ る
し の 心 を 呼 ば れ る
し の 心 を 呼 ば れ る
し の 心 を 呼 ば れ る

わ た し の 名 を 呼 ば れ る
わ た し の 名 を 呼 ば れ る
わ た し の 名 を 呼 ば れ る
わ た し の 名 を 呼 ば れ る

び

編を交唱する。

しみ深く、その憐れみは永遠

と 主はこたえ、わたしを自由

わたしは恐れることはない 人が

とともにおられる わたしは敵

人に頼るよ先よい

支配する者に頼るよ先よい

しそうなったとき 主はわたし

神こそわたしの救い

の天幕にある 「主の右の手

その右の手は力を示す」

17 わたしは生き長らえて死ぬこ
う

19 正義の門よ扉を開け 木
よう

20 これは主の門 正しい人

21 わたしはあなたに感謝する
れた

22 家造りの捨てた石が 階

23 これは主のみ業 人の目

24 今日こそ主が造られた日

25 ああ、主よお救いください

26 主のみ名によって来る人に、
主の家からあなたがたを祝

27 神、主はわたしたちを照らし
わり、祭壇の角まで進もう

28 あなたはわたしの神 あ

29 主に感謝しなさい 神は
栄光は 父と子と聖霊に

初めのように、今も 世々

第17章1～3節、14～26節

天を仰いで言われた。「父よ、時
 栄光を現すようになるために、子
 子にすべての人を支配する権能
 子はあなたからゆだねられた人す
 けるのです。⁰³永遠の命とは、唯一
 あなたのお遣わしになったイエスキ

たが、世は彼らを憎みました。わた
 世に属していないからです。¹⁵わ
 ら取り去ることではなく、悪い者か
 が世に属していないように、彼らも
 よって、彼らを聖なる者としてくだ
¹⁸わたしを世にお遣わしになった
 した。¹⁹彼らのために、わたしは自

分自身をささげます。彼らも、真理
 す。²⁰また、彼らのためだけではな
 る人々のためにも、お願いします
 れ、わたしがあなたの内にいるよ
 い。彼らもわたしたちの内にいるよ
 あなたがわたしをお遣わしになっ
 たがくださった栄光を、わたしは復
 であるように、彼らも一つになるた
 あなたがわたしの内におられるの
 す。こうして、あなたがわたしをお
 しておられたように、彼らをも愛し
 ます。²⁴父よ、わたしに与えてくだ
 におらせてください。それは、天地
 てくださったわたしの栄光を、彼
 世はあなたを知らませんが、わたし
 あなたがわたしを遣わされたことを
 らに知らせました。また、これから
 の愛が彼らの内にあり、わたしも彼

奉 献

一同立つ。ここで司式者

は立って、次の祈りを唱える。

司式者 み名にふさわしい栄光を
献げましょう

イエスは世の苦しみの淵から、すべ
れ、愛の内に生きるように願い、祈
り放って互いに助け合い、悩みと苦
しみにある人びととともに、隔てを越え
生きる希望を仰ぎ見させてくださ
るを祈ります。 **アーメン**

まことに、主はイスラエルを
わたしを求めよ、そして
善を求めよ、悪を求めよ
めに。

一同、次の聖歌を歌う。

(本日の信施は、「カパティラ

改訂古今聖歌集試用版』)

の民

らせ

を越えて

及ぶ

ため

国に

ため

人に

去り

わせて

主をよとめよ

ちよかがやけやみを

てを越えて 呼びおの
1 2 3 主イエス

Fine

おにこえた なきさのひり
くにゆいた なかみなど なみのみりた

ざわちのひびき みのうた きみに 職分こ

次の祈りを用いる。

施を受け、主のみ業のために用

。わたしたちは主から受けて、主

上29:14)

さい。

えください。

さい。

共通訳)

にも行われますように。

お与えください。

。わたしたちも人をゆるします。

悪からお救いください。

ものです。 アーメン

司式者 祈りましょう

特 禱 (ミレニアム)

限りない愛によってこの世界のす
たは地の民を深く憐れみ、平和の
をお遣わしくされました。そして
を通して、わたしたちに和解と新
新しい千年紀を迎えるこのとき、
らし、和解のみ業を今も成し遂げ
べることのできないみ力により、正
さい。わたしたちが、熱心に神と
うわたしたちの咎みを祝福し、
主にあつて平和を創り出す者とさ
エス・キリストによってお願いいた

世の光である主イエス・キリストよ
の愛を燃やし、平和を造り出す知
たしたちとこの世界に満たしてく
が、互いの力によって担われてい
いることを感謝し、希望をもって歩
のみ光で照らし導いてください。

聖歌「バナナグータ

福音席の時は主教)は、次の言葉を用いて

に生きられたために、不正義な権
また、迷える者を求められたため

にもおられます。

神の恵みが、常に皆さんとともにあ

らう。

Em7 A7

り で いき て く も - の は い
が あ い し あ い つ - か え あ う
は い き - よ う へ い わ を も

m7 A7

で - し ん で く も - の は い
す - く い の ふ く い ん が あ
こ え を あ わ せ と - も に う

- だれもひとりで いきてく
だれもひとりで しんでく

(おしかえし)
みんなが それぞれたか
かみとともに なるように

- わたしたちが あいしあ
そこにかみの すくいの

(おしかえし)

- わたしたちは いきよう
さあいま こえをあわせ

(おしかえし)

9 D G A

ない。 みんながそれ
る
たおう

13 D D7 G Em7 D/F#

る かみとともに な

司式者及び奉仕者は退